

別海町郷土資料館だより

No. 86・2006・9

加賀家文書歴史講座「松浦武四郎と加賀伝蔵」実施報告



8月24日～26日の3日間にわたり、加賀家文書歴史講座「松浦武四郎と加賀伝蔵」を開講し、3日間でのべ56名の方に受講していただきました。初日と2日目は講座形式で、武四郎の別海での足取りや、伝蔵との関係について、当館が所蔵する武四郎が伝蔵に送った手紙や武四郎の著書などから学びました(写真左)。3日目は松浦武四郎の「東西蝦夷山川取調図」を手に、本別海、遠太、茨散、床丹を実際に見て回りました(写真右。場所は遠太)。

また、三重県松阪市にある松浦武四郎記念館館長の高瀬英雄さん(写真左下)が遠路はるばる来町され、3日間の講座に参加していただきました。

受講者の方々からは、次のような感想が寄せられましたので紹介します。

- ・「地名の由来が、地形の変遷などにもとづいて説明され、謎ときのような楽しさがありました。標津のオンネナイ、本別海近くのバラサンの話などは特に印象的でした。」
- ・「今年5月に別海に越して来て別海のことにはよく知りません。それで今回の話を聞くことができ、とても強く興味を持ちました。是非この続きを読んだり調べたりして詳しく知りたいです。」
- ・「別海への踏査を図解していただき大変わかりやすくお聞きすることができました。これからも期待しています。」

(文責 戸田博史)



此処へ 出候や 別に 一世界を見出し 候もの 心地仕候 松浦武四郎
武四郎の記録を読みながらしばしば別海であそばせていただいています小生にとって、今後の学びの貴重な示唆を与えていただきました。

作家関川夏央氏は、武四郎の膨大な記録の中にこそ我々日本人の進むべき道が示されていると言っています。

聴講の方々の中に若い方もおられました。伝蔵の別海で、武四郎の松阪であたたかい眼差しを持ったヒューマニズムあふれる若者が育つことを願っています。

松浦武四郎記念館

館長 高瀬 英雄

別海町郷土研究会の活動紹介

風蓮湖をフィールドに自然と歴史を探る。

別海町郷土研究会（会長-渡辺昇）は、平成13年に設立された会です。郷土研究といっても多種多様な分野があり、個々人の活動になりがちなことから、今年度から観察記録方式の例会を月2回実施しています。フィールドは、昨年ラムサール条約登録湿地となった風蓮湖で、現在、走古丹周辺の植物、野鳥を中心とした野生鳥獣、遺跡などを観察しています。

植物は、花の咲いているものを中心に図鑑を片手に種の同定を行っています。在来種・帰化植物など形状を良く観察すると「なるほど」と名前の由来などに感心させられるものが数多くあります。

野鳥や野生鳥獣に関しては、毎回、ほのぼのと横たわるアザラシ、オジロワシ・タンチョウの親子・ショウドウツバメの大群など、改めて貴重な自然を感じることが出来ます。

毎回、同じポイントに行っても季節が変われば、見るものも違ってきます。こうした楽しみ、自らの知識の蓄積、継続して観察記録をとることにより、郷土研究の貴重なデータになると考えています。下記要領で行っていますので、興味のある方は、ご参加ください。（文責 石渡一人）

●実施期日-毎月第2・4水曜日（9時～12時）郷土資料館集合・解散・雨天の場合は中止です。



遠太渡船場跡？

郷土研究会の観察会時に遠太（トウトアイヌ語で沼の入口）の風蓮湖口で、陶磁器類（皿・碗・甕・急須の蓋・德利・すり鉢）、金属製品（鍔、船釘）、木製品（樽）、大型の礫が多数散乱しているのを発見しました。海中にも散乱しているようで、その他柱や杭なども見受けられます。

皿の文様を見ると型紙摺のものが多いようです。型紙摺とは文様を付ける技法のひとつで、明治10年以降に鮮やかな青を発色するというコバルト釉が輸入されてから盛んに用いられました。このことから皿は、明治10年代～大正といった年代をあてはめることができます。

現地や文献史料の詳細な調査は今後行く予定ですが、遠太は、明治に入り対岸に渡るための渡船場や駅通所の設置、東北地方からの漁夫の定住がありました。こうした時代背景に関連した遺構・遺物ではないかと考えています。

（文責 石渡一人）



採取した陶磁器など（德利・蓋・碗・皿・すり鉢）

郷土資料館のお知らせ(9月)

- 休館日 2日・3日・11日・16日・17日・18日
23日・25日・30日
- 開館時間
午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 観覧料
一般個人 300円 一般団体（10名以上）240円
高校生以下は無料となります。

別海町郷土資料館だより No.86

発行日 平成18年9月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.gr.jp

編集後記 遠太渡船場跡？に少しワクワクしています。近代明治といっても、もう140年も前の事です。文献史料・現地調査の必要性を痛感します。実はこの他にも気になる場所がいくつか？ 別海にはまだまだ、たくさんすばらしいものがあります。少しずつ紐解いてみなさんにご紹介出来ればと思います。（石渡一人）